

- [お知らせ]
センター長就任のご挨拶
マスクを寄贈いただきました
新型コロナウイルス感染症対策について
基金活動報告：院内環境整備
教員着任のご挨拶：大杉真由
- 臨床試験のご案内
- VMCセミナーについて



お知らせ センター長就任のご挨拶



センター長／農学博士
獣医外科学研究室教授（兼任）
西村 亮平 Nishimura, Ryohei

2020年4月1日よりセンター長に就任いたしました。就任直後から新型コロナウイルス感染症対策に追われ、皆様になかなかご挨拶する機会がありませんでした。改めてよろしくお願いいたします。

東京大学大学院農学生命科学研究科附属動物医療センターは2つの大きな使命を担っています。その1つは獣医系の学生や研修医などに対して獣医学教育を行うこと、すなわち教育病院としての役割です。動物医療センターでは、優れた人材育成を目指して、獣医学専修の学生の臨床研修を活発に行い、また数多くの研修医を全国から受け入れ臨床研修にも力を入れています。2019年には動物医療センターに産業動物に対する、教育・研究を専門とする教授も赴任し、茨城県にある附属牧場と連携しながら、牛、馬、羊、豚、鶏等の産業動物における臨床教育も充実を図っています。

もう1つが、一般動物病院から紹介頂いた動物たちに対して高度医療を主とした獣医療を提供することで、病に苦しむ動物たちを助け、その動物たちと強い絆でむすばれた飼い主の皆様へ安心と精神的安らぎを与え、さらに紹介獣医師の働きを助けることを通じて社会に貢献することです。もちろんこのような診療活動を通じて、新たな獣医学の発展に貢献することも重要なミッションです。

2次あるいは3次病院として高度医療を適切に提供するためには、幅広い専門科を持ち、それらが有機的につながって一つのゴールを目指して協力し合うチーム医療が不可欠です。動物医療センターにおける専門科や部の数や規模はまだ十分とは言えませんが、時間をかけて少しずつその数を増やしてきました。動物医療センターでは、これらの科や部がお互いを尊重しかつ協力し合うことで優れた人材の育成と獣医療の発展に向けて、スタッフが一丸となって努力してまいります。

VMC通信2020年上半期号をお届けいたします。我々の考える使命と実績について、飼い主の皆様、獣医師、看護師を始めとする獣医療関係の皆様、さらには動物を愛する市民の皆様にご理解をいただき、さらなるご支援をいただければ幸いです。

2020年7月 センター長 西村亮平

お知らせ マスクを寄贈いただきました

中国農業科学院 (Chinese Academy of Agricultural Sciences) よりマスク10,000枚が、中国の河南科技大学動物科技学院 (College of Animal Science and Technology, Henan University of Science and Technology) よりマスク4,200枚が寄贈されました。唐华俊院長を始め、中国農業科学院の皆様方、河南科技大学動物科技学院の皆様方に心より御礼申し上げます。上記以外にも、

貴重なマスクを差し入れてくださった飼い主様や卒業生が何人もおられました。頂いたマスクは、主に動物医療センターの診療のために使わせていただいています。また、今回の件を機に、多くの皆様へ励ましの言葉を頂戴しました。COVID-19はヒトとヒトの物理的距離は遠ざけましたが、心理的な距離はかえって近づけてくれたように感じました。



左：中国農業科学院から届いたマスク。段ボールには「望望相助 携手同行（：互いに助け合う友よ、手を携えて共に行こう）」と書かれていました。

右：河南科技大学動物科技学院から届いたマスク。段ボールには「千里情牵 共克时艰（：青山も雲雨も共に見る友よ、一緒に困難を乗り越えましょう）」とメッセージが書かれていました。



お知らせ

新型コロナウイルス感染症対策について

COVID-19感染拡大防止のため、本センターでは以下の対策を徹底しながら診療を行っています。

1 手洗い・手指消毒の徹底

スタッフの手洗いを徹底し、手指の消毒剤を設置しています。また、来院された飼い主様にもアルコールによる手指消毒に協力して頂いています。

2 スタッフのマスク着用

スタッフ全員のマスク着用を徹底し、必要に応じてグローブ・フェイスガードを着用し、感染防除をはかっています。

3 ソーシャルディスタンスの確保

飼い主様同士でソーシャルディスタンスが確保できるように待合室の椅子の配置を変えました。また、診察室ではスタッフと飼い主様が一定の距離を保って診察できるように診察台の配置を変えました。

4 院内消毒・換気の徹底

部屋の換気やドアノブの消毒を定期的実施しています。



左：診察室の様子。各部屋に2台あった診察台を1台に減らし、スタッフと飼い主様の距離を保てるようにしています。

右：各部屋にアルコールスプレーを設置しています。部屋の扉は開放し、可能な限り密閉環境を減らしています。



お知らせ

140周年記念基金活動報告：院内施設の環境整備

VMCの140周年記念基金の設立から半年が経過し、卒業生を始め多くの方々にご支援をいただきました。皆様からのあたたかいご支援は合計48件、総額4,135,250円に達しました（5月31日現在）。基金に対して深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。基金活動の第一歩として院内施設の環境整備を実施し、診察室の扉の改修やベランダのスロープの設置を行いました。今後の活動内容についても病院ホームページ、Facebookページにて定期的に報告させていただきます。なお、この基金は現在も寄附を募集中です（右上QRコードより基金HPにアクセスできます）。クレジットカードでご寄付頂くことも可能です。皆様の温かいご支援を心からお待ち申し上げております。



ご支援いただいた件数と金額
48件 4,135,250円



上段、右：待合室の改修工事により、以前より明るい雰囲気になりました。また、COVID-19感染拡大防止のため椅子の配置を変え、ソーシャルディスタンスを確保しています。下段左：診察室の扉を改修しました。部屋番号が分かりやすいように大きな文字で表記されています。下段中央：ベランダへの通路にスロープを設置し、バリアフリーに対応しました。下段右：他にも飼い主様が快適に過ごせるよう、院内環境を適宜整備しています。

お知らせ

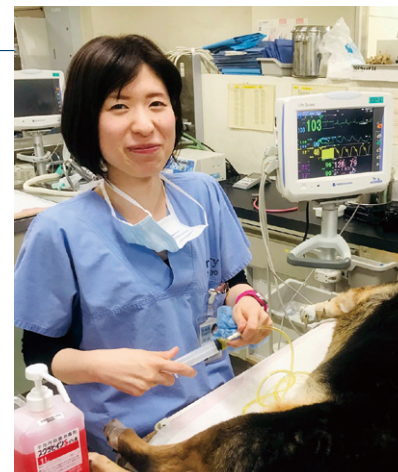
教員着任のご挨拶

麻酔・集中治療部 特任研究員 大杉 真由 (おおすぎ まゆ)

本年2月に麻酔集中治療部に赴任しました大杉真由と申します。私はこれまで、一次および二次診療施設にて一般診療に従事してきました。そんな中、様々な検査や治療法があると共に、それを受ける患者の種差や年齢、持病、健康状態も多種多様であることを痛感してきました。本センターではこれまでの経験を活かして、個々の状況に合致した最適な麻酔・鎮痛の提供を目指しています。

本センターに応募したのは、前田真吾先生が行われている膀胱移行上皮癌の臨床試験に参加した事がきっかけでした(我が家のシェルティで、1年4ヶ月経った現在も元気しております!)。定期検診の際に、前田先生から「今、麻酔科医の公募が出ていますよ。麻酔がいっぱいかけられますよ」と伺い、興味を持ちました。次の検診の際に「応募しました」と報告したら、たいへん喜んでくれたのをよく覚えています。

より安全で効果的な麻酔・鎮痛を心がけ、各科にご紹介いただいた患者様の検査や手術における負担を軽減できるよう努力いたします。どうぞよろしく願いいたします。



Information

臨床試験のご案内

詳細はこちら▷



東大VMCでは以下の2つの臨床試験プログラムを新たに開始しました。当該症例に遭遇した場合は当センターへのご紹介をお願いします。また、これまでの臨床試験も引き続き実施しています。詳細は右上のQRコードを参照ください。

✓ 犬の悪性固形腫瘍に対する抗体薬の臨床試験

対象

■ 外科手術による根治的切除不能な扁平上皮癌、線維肉腫、または転移病変を有する悪性黒色腫、かつ、標的分子の発現を認める腫瘍 ■ その他、外科的切除不能あるいは転移病変を有する悪性固形腫瘍のうち、標的分子の発現を認める腫瘍 (標的分子の発現については、本院での病変の採材、または他院での手術時の検体を用いて検査が可能です。扁平上皮癌、線維肉腫、悪性黒色腫の標的分子発現率は40~80%です) ■ 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様 (初回投与時の入院、その後1~2週に1度の頻度での通院が必要になります。) ■ 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

✓ 猫の腎性貧血に対する臨床試験

対象

■ IRISガイドラインに従って慢性腎臓病と診断されている猫である ■ 血液検査にて非再生性貧血と診断されている ■ 開始時、PCVが30%未満である ■ 開始前1ヶ月間の投薬に変更がない

除外基準

■ 1歳未満である ■ 担癌患者である ■ 血栓塞栓症の既往がある ■ 妊娠中または授乳中である

VMCセミナー

今後のVMCセミナーの開催について

COVID-19感染拡大防止のため、現在VMCセミナーは中止しています。今後はWEBセミナーの配信を検討しています。準備が整い次第メールリスト、病院ホームページで告知しますので、しばらくお待ちください。

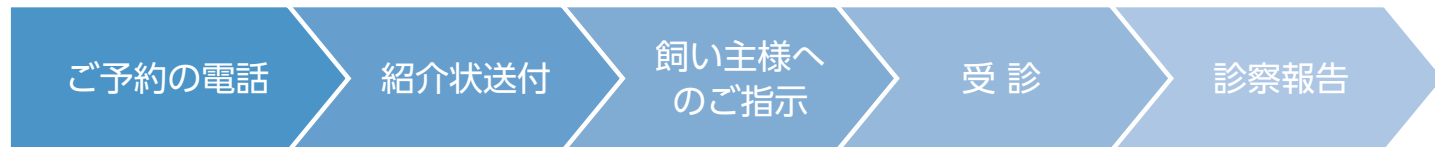


セミナーの日程、内容についてメールでのご連絡を行っております。ご希望の方は下記連絡先までご連絡下さい。登録確認メールをお送りいたします。

- 発行時期 (内容) : 4月および9月頃 (日程連絡)、当月 (セミナータイトル)
- 対象 : 獣医師 (研修医、学生) および医療従事者 (薬剤師、製薬会社、医療機器製造販売会社等を含む)

連絡先 本阿彌 宗紀 utvmc.info@gmail.com

初診予約～診察の流れ



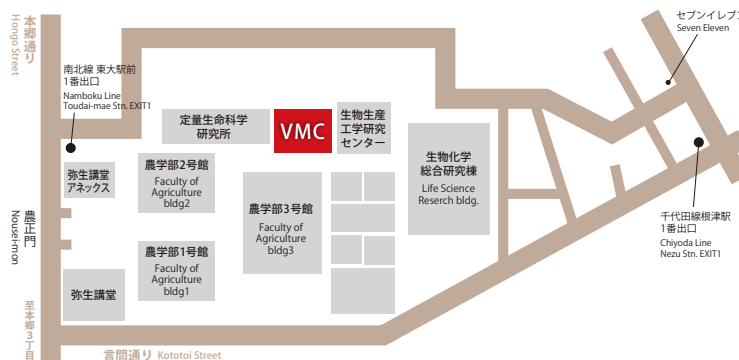
- かかりつけの動物病院よりお電話にて希望診療科と日時をお伝えください。
- 事前に本センターへFAXにてお送りください。
- 当日、朝に食事を与えないよう指示をお願いします。
- 飼い主様にお持ちいただけるよう紹介状をお渡しください。
- 診断結果・治療方針などについて、電話および書面にてご報告します。

初診外来表

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-14:00	○	○	○		○
外科系	9:00-15:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-15:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-15:00	○		手術		
行動	10:00-15:00	○			○	

予約専用(代表) ☎ **03-5841-8004** (平日 11:00 ~ 16:00)
 其他のお問合せ ☎ **03-5841-5420** (平日 9:00 ~ 16:00)
 ☎ **03-5841-5413** (平日 16:00 ~ 20:00)
 行動診療科はFAXにて予約: **03-5841-8190**
 (詳細は <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>)

アクセス



- ★電車でお越しの場合：
 - ・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分
 - ・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分(根津駅からは登り坂です)
- ★お車でお越しの場合：
 - ・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

COVID-19感染拡大防止のための大学活動制限により変更される場合があります。詳しくはお問い合わせください。

ご予約時の注意点 (詳細は右下のQRコードをご参照ください)

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・当センターの放射線治療装置はオルソボルテージのみとなっています。当センターでの対応が難しい場合は他の診療施設を紹介させていただく場合があります。オルソボルテージの装置では適応外の可能性がある場合は他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ご紹介後、当院の休診日(土日祝日など)で対応できない場合は、貴院でのご対応をお願いいたします。(診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください。)
- ・当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼い主様へ説明をお願いします。

- ・来院当日の朝は絶食の上でお連れください(飲水は可)。(糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください)
- ・当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承下さい。
- ・緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。



詳細はこちら▶

休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

Facebookもチェック



東京大学附属動物医療センター
 Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

【住所】 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1
 【TEL】 予約専用(代表) : 03-5841-8004 【受付時間】 平日 11:00 ~ 16:00
 其他のお問合せ : 03-5841-5420 【受付時間】 平日 9:00 ~ 16:00
 03-5841-5413 【受付時間】 平日 16:00 ~ 20:00
 【URL】 <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>